



協働まつり 講演会のご案内

秋晴れの爽やかな風が心地よく感じるこのごろです。秋へと季節が移り行く中、会員の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。当会は例年の協働まつりと講演会の準備に取り掛かっています。

* 協働まつり *

第9回府中市民協働まつりが11月25日(土)、26日(日)に府中ル・シーニュ内で行われます。当会は26日に6階、第2会議室内で「がんを学ぼう つながろう!」をタイトルにブース出店をします。

今年も東京都立がん検診センター職員の皆様と協働により、マンモモデルを置いて乳がんの早期発見の啓発やがん検診の普及、子供たちへのがんクイズ、がん予防やがんケアに関する情報を展示します。更にごがん当事者の方々が、気軽に立ち寄り、つながる場の提供も考えています。是非ともお立ち寄りください。



* 講演会 *

第59回目の講演会は12月3日(日) プラッツ第2会議室で開催します。

「多摩総合医療センターでの緩和ケアの取り組みと地域連携」(仮)と題して、東京都立多摩総合医療センター 緩和ケア科 杉原有希先生をお招きし、緩和ケアの現状と取り組みや地域との連携がどのようになされているかを具体的にお話して頂く予定です。

総会でのアンケートに、「在宅医療について理解ある医師の話なども聴きたい」との要望もありましたが、今回は病院から在宅医療へどのように連携していくのか等についてのお話も期待したいと思います。

何かと忙しい時節柄でもありますが、是非ともお知り合いの方にもお誘いあわせの上、会場でお目にかかれそうです。役員一同心待ちにしております。

12月講演会

12月3日 (日)
午後1時30分開場 2時開演
会場

プラッツ6階 第2会議室

講演テーマ

多摩総合医療センターでの
緩和ケアの取り組みと地域連携

講師

杉原 有希先生
多摩総合医療センター緩和ケア科

参加費 800円(会員無料)

桜町病院、聖ヨハネホスピスについて、HPからの抜粋と共にホスピスコーディネーターの池田順子さんにお話をお伺いいたしましたのでご紹介いたします。

聖ヨハネホスピスについて 社会福祉法人聖ヨハネ会 桜町病院

1989年本館の一部にホスピス病室を設置、1994年8月院内独立型のホスピス病棟を新築。死ぬためのお手伝いをしているのではなく、限りある人生をどう生きていくかということと一緒に考えていく作業をしています。

1. ホスピスってどんなところ？

残された人生をよりよく生きていただく為に、“痛みを緩和しその人が大切にしたいことを私たちも大切にしたい”と考え、お手伝いさせていただいています。

2. まずは体の痛みを取ることに

体の辛さだけでなく、将来への不安や、ご家族のこと、お仕事のこと、お金のこと、さらには生きている意味など様々な気がかりなことにつて、解決していくためのお手伝いも、チームで行っています。その人が持っている力を取り戻し、その力をきちんと使うことで、寿命を全うしていただけたらと考えています。

3. ホスピスに入りたいけれど、どうしたらいいの？

1:ホスピス外来受診の対象となるのは？

進行がんと診断され、「将来はホスピス」と考えておられる方は、どなたでも受診できます。

2:ホスピス外来の予約は？

ホスピス相談外来の予約をお取りください(完全予約制)。入院をお急ぎの場合はその旨担当者にお伝えください。可能な限り対応いたします。外来受診時には原則、医療機関からの紹介状をお持ちください。(用意できない特別な事情がある場合は、電話相談時、担当者にお申し出ください)

3:抗がん治療中でも大丈夫？

ホスピス入院中に抗がん治療はできません。ご希望があれば、初診外来の後も、継続してホスピス外来に通院できます。病気どうまくお付き合いするための抗がん治療の必要度は人によって様々なため、こうしたお悩みにも対応しています。

4:抗がん治療が終わったら、人生おしまいと思いませんか？

がんをたたいて戦うという向き合い方から、がんはたたかないけれど辛い1日を過ごすことを積み重ねて、元々その人が持っている力を取り戻していく作業が大切だと考えています。

5:痛みの治療は外来でもしてもらえるの？

ホスピス外来に通院しながら、痛みのコントロールをすることができます。通院では難しい症状のコントロールが必要となれば、入院での治療に切り替えます。

6:ホスピスにはいつ入院したらいいの？

お家では辛い症状の緩和が難しかったり、食事が摂れず心配ということがあれば、早めに入院予約をお取りください。外来通院しながら、入院のタイミングと一緒に考えていく方も増えています。

7:ホスピスに入院しても点滴はしてもらえますか？

ホスピスに入院しても緩和的治療と位置付けています。体に必要とされる点滴の量と質は病態により異なるので、一人ひとりに一番合ったものを選ぶことによって、辛くなく1日を過ごせるよう考えていきます。

8:仏教徒でもホスピスには入れますか？

宗教の有無や種類は問いません。信者さんでなくても、ご希望があればシスターの話やホスピスの中にあ

る聖堂での礼拝に出席されることも可能です。患者さんの中には洗礼を希望し受けられた方もいらっしゃいます。また、仏教徒やほかの宗教の方であっても、何ら宗教的制約を受けるものではありません。ただし、他人への布教活動、大きな音の出ることはご遠慮ください。



以上、ホスピスコーディネーター池田様より了承を得てHPより引用しています。

当会の活動方針にホスピスケアの施設見学を掲げておりますが、今年も新型コロナウイルス感染対策もあり、残念ながら見学は出来ませんでした。当会の活動をご理解いただき、ホスピスコーディネータの池田順子様にて電話でインタビューに応じていただきましたのでご報告いたします。

* 近年のホスピス利用状況について

以前は余力(病状、体力、気力などの)がある前の入院が多かったが、近年はぎりぎりまで抗がん治療をおこない、余力があまりない方が増えている。

その為、苦痛を取り除き緩和ケアを行い、楽になっても楽しむ事や、何かをしたいという気力、意欲が短くなっている傾向にある。入院期間も平均33~34日(昨年度)10年前と比べ10日前後は短くなっている。最短は在宅療養を経て2-3日 3-4日の入院のケースもある。

一方で、長期間入院中に、がんの苦痛症状が落ち着き、がんでない症状の対応が必要になったケースでは(認知症など)退院してもらい、ホームや老健へ転居されるケースもある。

ホスピス入院中であっても、がん治療以外の治療は行っている。(食べられないときは24時間点滴や風邪症状の対応、高血圧や糖尿病の治療、腸閉塞等の治療等)

* 病床数

全個室17床(保険適応:7床 自費:10床)

* ホスピスコーディネータ 池田様からのメッセージ

・病床数が少ない故、1週間の外来予約人数も増やせない現状があります。

ホスピスも入りにくいと言われていますが、相談により、病状、希望を聞き応じて優先順位を決めることができます。緊急を要する場合は、一般病棟ホスピス科に入院し、症状が落ち着き安定したら退院し何かあったら連絡をして対応もできます。

近隣の他のホスピスや緩和ケア病棟にも申し込みされており、3か月後位にキャンセルが出ることもあります。

・新型コロナウイルス感染対策以降、運動会などの行事が出来なくなりました。

面会時間も制限ができ(9時~19時 応相談可)飲食も家族と共に出来なくなっています。苦痛症状を取り除いた後に、天気の良い日は庭の散歩や、お風呂に誘い、その方が何を望んでおられるかを汲み取り、コミュニケーションを取ることで、その方の良い表情が出た時に画像などでご家族と共有するなどの工夫をしています。

【ホスピス利用のご相談と手続き】HPより引用

1. 連絡先 電話 042-383-4111

予約受付時間 月～金曜日 9:00～12:30(土曜・日曜・祝日はお休みです)

ホスピス外来は完全予約制です。各種保険の適応があります。

ご本人がいらっしゃらない場合、保険適応がなく、相談料がかかります。

2. 予約された診療日にお越しください

担当医師とよく相談ください。これからの応援の方法を決めていきます。

3. 入院をご希望の場合は

- (1) ベッドが空いたらすぐに入院したいという方は、外来受診の際に入院予約をして下さい。
- (2) すでにホスピス外来受診がお済みの方は、病院の代表電話に「ホスピスの入約希望」とご連絡ください。
- (3) 入退院検討委員会で検討し、入院の準備ができましたらご連絡いたします。

患者会より

7月23日

猛暑の中、さすがに来ていただくのはお気の毒かなと思いながら準備を進めましたが、数名の方に参加いただきました。講演会で講師をしていただいた田村先生にも参加いただき、少数ながら充実した患者会でした。

主な話題は、痛みの調整、寝汗の対策、食欲の増進薬、代替食などでした。この患者会で栄養指導・相談ができる「栄養・ケアステーション」の存在を知りました。府中には三つあります。(ぶばいオハナ歯科 認定栄養ケア・ステーション、認定栄養ケア・ステーション もぐもぐ府中、健康の種・認定栄養ケア・ステーション)

9月10日

月末に会場がとれず、上旬の開催となりました。(11月も5日)この日は珍しく、リモート参加者以外の方は皆さん初めての参加でした。主に副作用の話となり、皆さん経験なされたことなのでそれぞれの症状を語り合うことになりました。

振込用紙を同封しています。ご不明の場合はお問い合わせください。

2023～24年の予定

予定変更、中止になる可能性があります。いずれの催しも当面参加人数に制限があります。できる限り事前の確認、参加予約をお願いします。

日時	行事	会場
11月 5日(日)	患者会	プラッツ 第4会議室
11月26日(日)	府中市協働まつり	プラッツ
12月 3日(日)	講演会	プラッツ 第2会議室

編集後記

毎日山岳遭難のニュースがあります。なんでもそこで落ちるの、とか疲労で歩けないとか考えられない理由での救助要請が多いと思います。10月の通信はいつも記事に困っています。体験記、その他お寄せください。夏の疲れが出てくるころです。みなさま、お気を付けて。

発行 府中がんケアを考える会・会報編集部

連絡先 183-0053 府中市天神町3-7-47 武智 一雄
電話 090-7729-4429 Mail: ktakechi@fuchugancare.org